

小さな英雄の詩（1971）

POLONEZ OGINSKOGO

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 ソ連

色彩 B&W

時間 83分

初公開日 1972/06/10

公開情報 松竹映配

【キャッチコピー】

戦火をこえて固く結ばれた 音楽と友情！ 「生きていたんですね」 少年は弓をとった 美しく力強く
絃は高鳴る…… 流れる“愛と独立”のポロネーズ！

【解説】

戦争により両親を失ったバイオリン好きの少年が、ドイツ軍相手に繰り広げる戦いを描いた小さな英雄伝。独軍の攻撃により戦災孤児となった主人公（ツッケル）は行く宛も無く各地を放浪する。が、やがてパルチザンに参加。彼等とともに敵と戦うように……。71年モスクワ映画祭、全ソ連邦教育省賞受賞。同年全ソ映画祭、最優秀賞受賞作品。

【クレジット】

監督 レフ・ゴループ

脚本 コンスタンチン・グバレビッチ

撮影 グリゴリー・マサリスキー

音楽 ゲンリフ・ワグネフ

出演 イリア・ツッケル

ゲンナジー・ユフティン

ペトロ・パブロフスキー